

保育所安全計画(令和8年度)

学校法人泉新学園

垂水せんしん保育園

令和8年度 保育所安全計画

◎安全点検

(1) 施設・設備・園外環境（散歩コースや緊急避難先等）の安全点検

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
重点点検箇所	・ 防火設備・避難経路 ・ 消火器、防火扉の確認 ・ 緊急連絡先 保育室・遊具の安全点検	・ エアコン整備点検 ・ 散歩コースの安全確認 ・ 消火器	・ 暴風雨対策、備品点検 ・ プール、用具、遊具、玩具等の安全確認 ・ 消火器	・ プール、用具、遊具、玩具等の安全確認 ・ 消火器	・ プール、用具、遊具、玩具等の安全確認 ・ 消火器	・ 台風対策、備品点検 ・ 消火器
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
重点点検箇所	・ 加湿器・空気清浄機点検 ・ 園外保育の歩き方の指導 保育室 ・ 遊具の安全点検 ・ 消火器	・ 園外保育コース確認 エアコン点検 ・ 消火器	・ 備品点検 ・ 換気点検 ・ 消火器	・ 地震避難経路安全確認 ・ 消火器	・ 散歩コース安全点検 ・ 消火器	・ 室内・室外遊具 ・ 安全点検 ・ 消火器

(2) マニュアルの策定・共有

分野	策定期期			見直し（再点検）予定時期	掲示・管理場所
重大事故防止マニュアル	令和4年	4月	1日	随時	職員室内 PC
☐ 午睡	令和4年	4月	1日	随時	職員室内 PC
☐ 食事	令和4年	4月	1日	随時	職員室内
☐ プール・水遊び	令和4年	6月	1日	随時	職員室内 PC 職員各自
☐ 園外活動	令和4年	4月	1日	随時	職員室内
災害時マニュアル	令和4年	4月	1日	随時	職員室内 PC
119 番対応時マニュアル	令和4年	4月	1日	随時	職員室内 PC
救急対応時マニュアル	令和4年	4月	1日	随時	職員室内 PC
不審者対応時マニュアル	令和4年	4月	1日	随時	職員室内 PC

◎児童・保護者に対する安全指導等

(1) 児童への安全指導（保育所の生活における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等）

	4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~3 月
乳児	・SIDS 発生予防のため 5 分おきに健康状況を観察、記録する(慣らし保育中は特に気を付ける) ・安全な環境を整え、発達に応じた探索活動が十分にできるようにする。 ・1 人ひとりの発達状態を把握し、転倒やけが、危険のないよう見守る。 ・午睡時は溢乳や嘔吐物・敷物等で口や鼻がふさがらないように見守る。・玩具の大きさや素材等に注意し、誤飲やけがを防ぐ。 ・抱っこやおんぶをしている時は、保育者の周囲に気をつける。			
1 歳以上 3 歳未満児	・SIDS 発生予防の為、年齢に応じた間隔で睡眠状況を観察し、記録する。 ・1 人ひとりの発達状態を把握しながら安全な環境を整える ・新しい生活の疲れが出てくる為、1 人ひとりの健康状態に配慮する。 ・1 人ひとりの発達に応じた玩具や遊具を用意する。	・交通安全教室の実施：7 月 2 9 日 ・水分補給を十分にとり、静と動の活動バランスに配慮する。 ・安全に水遊びが楽しめるよう一人ひとりの健康状態を確認し、職員間で共有する。 ・水遊びでは監視にあたる職員を配慮し、複数の職員で目を離さないよう行う。 ・環境を整え、ケガや事故(転倒、噛み付き)を予防する。	・安全な環境を整え、発達に応じた遊びや活動ができるようにする。 ・保育者と一緒に衣服の調節をし、薄着で健康に過ごせるようにする。 ・保育施設外(散歩、園外保育)活動時は、年齢や発達に応じた計画を立て、移動や目的地での活動は安全に十分配慮する。	・防寒具の着用等。 ・冬期休暇中の安全で楽しい過ごし方。

3 歳以上児	・保育者や身近な大人の話を聴く。 ・保育施設で安全に過ごす為の生活や遊びのルールを知る。 ・困った時の対応の仕方。 ・散歩時の安全な歩き方。 ・遊具、用具の使い方。 ・けがや体調不良時の対応の仕方。 ○火災時の避難方法を知る。 「おはしも」の約束。 ○雨の日の安全な生活の仕方を知る。 ・雨具の使い方、始末の仕方。	・交通安全教室実施：7月29日(月) ・生き物の世話の仕方や、安全な虫、危険な虫について知る。 ○水遊びの決まりや約束を知る。 ・プールでの約束。 ○不審者への対応の仕方を知る。 ・「いかのおすし」の約束。 ○暑い日の過ごし方を知る。 ・熱中症予防 ・水分補給 ・休息の取り方について ・体調が優れない時の対応の仕方	○地震時の避難の仕方を知る。 ○様々な遊具、用具の使い方を知る。 ○施設外(散歩、園外活動等)での安全な活動の仕方を知る。 ・交通ルールの大切さ。 ・目的地での遊び方。 ・集団で行動するときの約束。 ○健康な生活の仕方を知る。 ・衣服調節の大切さ。 ・けがや危険時の対応の仕方 ○戸外で体を動かし、健康に過ごす。 ・気温や活動に応じた服装。	○風邪予防に関心を持つ。 ・手洗いうがいの大切さ。 ・生活のリズムの大切さ ○進んで体を動かし健康に過ごす。 ・十分に体を動かす。 ・薄着の習慣を身につける。 ○保育施設で安全に過ごす為のルールの大切さに気付き、守ろうとする。
--------	---	---	--	--

(2) 保護者への説明・共有

4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~3 月
・門の開閉時の注意喚起の徹底。 ・8時30分までにルクミー連絡帳の記入提出の周知、徹底。 ・子どもの健康状態、生活リズム等の記録。 ・保護者へ施設での安全対策の共有と家庭内における安全教育実施の依頼。	・プール・水遊びの衛生管理及び配慮事項の周知。 ・生活リズムの調整や体調への配慮を依頼する。	・感染症対策や対応について伝え施設で感染症が出た際には周知する。 ・感染症情報システムを活用し地域の感染症状況を把握する。 ・予防接種チェックシートの確認 ・災害時の保護者引き渡し訓練	→ ・保護者へ生活リズムの調整・体調への配慮を依頼する。 → ・防寒着を用意してもらう。 ・入園時の説明会で取り組み内容の周知を図る。

◎訓練・研修

(1) 訓練のテーマ・取組

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
避難 訓練等	・避難訓練 (地震震度 3) ・消火訓練	・避難訓練 (地震震度 4) ・消火訓練	・避難訓練 (火災想定) ・消火訓練	・避難訓練 (火災想定) ・消火訓練	・避難訓練 (水害時の訓練) ・消火訓練	・避難訓練 (地震→火災想定) ・消火訓練
年間訓練 (随時)			・ AED の使い方(心肺 蘇生法)	・ プール遊びの際の訓練 ・ 午睡時に心肺停止(0 歳)	・ 熱性けいれんによる意 識不明(2 歳) ・ 防犯訓練(保育中)	・ 引き渡し訓練 ・ 窒息事故(2 歳)
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
避難 訓練等	・避難訓練 (地震から火災) ・消火訓練	・避難訓練 (園庭遊び地震震度 4) ・消火訓練	・避難訓練 (午睡時の地震、延長 保育時の地震) ・消火訓練	・避難訓練 (総合訓練) 大地震想定(震度 7) ・消火訓練	・避難訓練 (水害時) ・消火訓練	・避難訓練 (予告なし) ・消火訓練
年訓練 (随時)		・ 園長不在時訓練 ・ 防犯訓練(散歩時)	・ 延長保育時 ・ アレルギー児の心肺 停止	・ 消防署に報告 (119 番通報避難訓練) ・ 土曜保育時(熱性けいれん)	・ 防犯訓練(屋上園庭より 侵入)	

※1 「避難訓練等」・・・設備運営基準第 6 条第 2 項の規定に基づき毎月 1 回以上実施する避難及び消火に対する訓練

※2 「その他」・・・「避難訓練等」以外の 119 番通報、救急対応（心肺蘇生法、気道内異物除去、AED・エピペン®の使用等）、不審者対応、送迎バスにおける見落とし防止等

(2) 訓練の参加予定者（全員参加を除く。）

訓練内容	参加予定者
心肺蘇生 AED	園長、主任、全職員
119 番通報対応	園長、主任

(3) 職員への研修・講習（園内実施・外部実施を明記）

4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~3 月
戸外遊びの時の職員の立ち位置や危険な箇所の周知。 睡眠、食事時の注意事項(未満児) 人数の点呼確認訓練	水遊びのマニュアル周知・監視員の徹底 遊具、用具の使い方 心肺蘇生法に係る研修(外部)	アレルギー対応	室内遊具の使い方

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール ※所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらずメモする

・キャリアアップ研修の受講

◎再発防止策の徹底（ヒヤリハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等）

ヒヤリハット活用・職員メール、業務日誌にて事故報告(職員会議で共有し、再発防止策について検討する)
 事故報告書作成
 けが状況の報告

◎その他の安全確保に向けた取組（地域住民や地域の関係者と連携した取組、登降園管理システムを活用した安全管理等）

- ・朝 8 時半、ルクミーアプリ連絡帳にて、園児出欠確認(出欠連絡がなかなか出ない保護者へは、都度、速やかに提出していただくよう連絡を行う。提出が習慣化するまで声掛けを行い、安全に努める)
- ・延長保育児の確認(各クラス担任から遅番保育士に伝達事項の共有)
- ・各クラスホワイトボードと児童名記載のマグネットを使用し、在園児降園児の人数確認を職員間で共有
- ・午睡時 SIDS 発生予防、チェックタブレット活用
- ・緊急引き渡しカードの活用 ・保護者配布の ID カードに保護者、お子様の名前記入。登園の際、モニターにしっかりと顔を近づけ、ID カードを提示し、クラス名と名前を言っていただくことを共有、徹底。